

ひと・夢・まち 町長コラム

マネをしても、うまくいかないことを知っていますか？（令和元年12月号）

西郷どんの教え その8

「先ず我が国の本体を居え」が本文ですが、いつの時代も今よりもっと文明の進んだ豊かな国になりたいと思うのは当然のことと思います。

西郷さんが生きた明治は、特に、それまで鎖国政策により外国文化が断絶されていたものが急に開放されたということで、何でも新しいものに魅力を感じ、限りなくほしいと思った時代だったのです。文明開化は時代の要請であり、それが我が国発展の一番の近道であると国民も政府も考えるようになったようです。しかし、西郷さんは、長い目で見て悔いがあったてはならない、まずは自分たちの足元からしっかりと見つめていくことを注意喚起していたのです。

今、地方創生が叫ばれて6年。今後の中山町を創造する時に、先ずは我がふるさと「中山町」を知ることから始め、その後、他の町づくりの長所を取り入れることが重要であると思っています。町民みんなで住み続けたい町を考えていきましょう。